

1. 心理学部固有科目について

「心理学部固有科目」とは、心理学部生のために開講される心理学専門科目です。
 以下の表の中から、履修する科目を選択し、卒業までに必要な単位を計画的に修得する必要があります。
 必要な科目には一定のルールがあります。以下内容を確認し、よく理解しましょう。

■卒業に必要な学部固有科目単位数は72単位

(内訳:必修38単位+選択必修①8単位+選択必修②4単位+選択科目22単位)

■必修科目は卒業までに合格し、単位を修得する。不合格となった場合は翌年に再履修の必要がある

■選択必修科目は、選択必修①と選択必修②の定められた科目の中から、それぞれ必要単位数以上を修得する。

■選択必修①と選択必修②の必要単位数を超えて修得した単位は、選択科目の単位数に加算する。

(例)心理調査概論・心理学研究法・心理測定法3科目(6単位)を修得した場合

⇒選択必修②に4単位を加算、選択科目に2単位を加算する。選択科目は残り20単位必要。

	1年	2年	3年	4年	卒業要件 (72単位)	
必修科目 卒業までに38単位を必ず修得する必要がある	現代心理学の諸領域1(春2) 現代心理学の諸領域2(秋2) 心理学統計法1(春2) 心理学統計法2(秋2) 心理学概論(春2) アカデミックスキルズ1(春2) アカデミックスキルズ2(秋2)	心理学基礎実験1(心理学A版)(春2) 心理学基礎実験演習2(秋2) キャリア形成(秋2)	心理学基礎演習1(春4) 心理学基礎演習2(秋4)	卒業研究(通年10)	38単位	
選択必修① 卒業までに8単位を選択して修得する必要がある			発達心理学概論1(発達心理学)(春2) 発達心理学概論2(秋2) 実験心理学概論1(春2) 実験心理学概論2(学習・言語心理学)(秋2) 応用心理学概論1(春2) 応用心理学概論2(秋2) 臨床心理学概論1(春2) 臨床心理学概論2(秋2)		8単位 *1	
選択必修② 卒業までに4単位を選択して修得する必要がある		心理調査概論(春2) 心理測定法(秋2)	心理学研究法(秋2) 心理データ解析法(秋2)	心理学海外演習(秋2)	4単位 *1	
選択科目 卒業までに22単位を選択して修得する必要がある			心理学海外演習(秋2)	臨床心理学外実習A(心理実習)(通年2) 臨床心理学外実習B(心理実習)(通年2)	22単位 *2	
			心理学基礎演習1(春2) 心理学統計法3(多変量解析入門)(春・秋2) 心理調査法演習(春・秋2) 自分づくりの発達心理学(春2) 知覚・認知心理学(春2) 認知科学(秋2) 感覚知覚心理学(春2) 環境心理学(秋2) 組織心理学(産業・組織心理学)(秋2) 社会・集団・家族心理学(春2) 親と子の発達心理学(春2) 生涯発達心理学(春2) 多様な人生の発達心理学(秋2) 教育心理学(春2) パーソナリティ心理学(感情・人格心理学)(秋2) 精神保健学(健康・医療心理学)(春2) 障害者・障害児心理学(秋2) 公認心理師の職業(春2) 福祉心理学(春2) 司法犯罪心理学(秋2) 関係行政論(春2) 精神医学(精神疾患とその治療)(秋2) 人体の構造と機能及び疾病(春2) 心理学と哲学(秋2)			
			心理学基礎演習2(春2) 神経・生理心理学(春2) 産業心理学(春2)*3 交通心理学(春2)*3 照明色彩心理学(秋2) 人工工学(秋2) 応用心理学実習(通年2) 発達心理学実習(通年2) 青年期臨床心理学(教育・学校心理学)(春2) 臨床心理面接法(心理学的支援法)(春2) 認知行動療法(春2) 心理アセスメント実習1(心理的アセスメント)(春2) 心理アセスメント実習2(秋2) カウンセリング基礎演習(心理実習)(秋2)			
			インターンシップ(2)	海外留学(18) 歴史I(2) 歴史II(2) 国際法A(2) 国際法B(2)		

()内は開講期および単位数
 ●.....公認心理師となるために必須の科目 資格取得を希望する人は「公認心理師について」のページを参照してください。
 *1 「選択必修科目(8単位)」「選択必修科目(4単位)」においてそれぞれ必要な要件を超えて単位を修得した場合、*2「選択科目(22単位)」の要件に参入されます。
 *3 隔年開講科目
 表の卒業要件を超えて修得した単位は8単位までフロート単位として卒業所要単位に含めることができます。

2. 時間割作成のポイント

大学の時間割は自分で作成する必要があります。以下手順に沿って、自分の時間割を作成しましょう。
1年生春学期に履修登録できる最大の単位数は、23 単位です(スポーツ実技科目を履修した場合)。

	月	火	水	木	金
1 限	★心理学統計法1 A-H 班	★アカデミック ・スキルズ1			▲第二外国語 B
2 限	▲インターミディエイト /エレメンタリー 英語リーディング A	★心理学概論	★現代心理学の 諸領域1		
3 限	▲第二外国語 A			▲インターミディエイト /エレメンタリー 英語コミュニケーション A	
4 限	★心理学統計法1 I-P 班				

 学部固有科目  全学共通科目

※第二外国語 A・B、アカデミック・スキルズ1はあらかじめ登録されています
(自身で登録する必要はありません)。

※履修する第二外国語は、履修登録の画面に表示されていますので、確認してください。

※所属班(アルファベット班)についての案内は、MaNaBo メールで配信されています

①学部固有必修科目(★)4科目 を入れる 8 単位

■心理学統計法1、アカデミック・スキルズ1、心理学概論、現代心理学の諸領域1を履修する(各2単位)

・心理学統計法1:班指定あり

・アカデミック・スキルズ1:教務センターにてあらかじめ登録済です。担当教員を確認してください。

②全学共通必修科目(▲)4科目 を入れる 4 単位

■英語コミュニケーション A、英語リーディング A のクラスを1つずつ選択する(各1単位)

・まずは各科目のレベル(エレメンタリー、インターミディエイト、アドバンスト)を選択

・次に各クラスの授業内容をシラバスで確認し、履修するクラスを選択(教員によって内容が異なります)

※履修可能なクラスは時間割表に記載されている科目に限る

・英語コミュニケーション B、英語リーディング B は秋学期に開講されます

■第二外国語 A・B は、指定されたクラスがあらかじめ登録されている(各 通年2単位)

・第二外国語 A・B は通年 2 単位の科目。履修登録単位数は、春学期1単位、秋学期1単位と考える

③残りの時間に全学共通科目・学部固有「選択科目」を入れる 11 単位

■スポーツ実技科目 1 科目(1 単位) ※1 年次に1科目分の履修を推奨

・抽選のため履修できない可能性があります。卒業までに2科目分履修できれば問題ありません

3. 心理学部固有科目 注意事項

2年生以上で関係するルールもありますが、卒業に関わる重要な内容のため、本学公式ホームページの在学生ページに掲載している『学生便覧(履修ガイド)心理学部』と併せて確認しましょう。

■1年生科目

アカデミック・スキルズ1/ アカデミック・スキルズ2(1年生)

教務センターにてクラス分けを行い、履修登録をします。時間割表やシラバスで担当教員を確認してください。この科目の担当教員がクラス担任の役割を果たします。学生生活上の諸問題について遠慮なく相談してください。

心理学統計法1 / 心理学統計法2 (1年生)

「心理学統計法1」は所属班によるクラス分けを行います。時間割表やシラバスで担当教員を確認してください。

■上級生(2年生以上)科目

心理学基礎実験演習1(心理学実験)・2 (2年生)

2年生開講の必修科目です。2年生春学期に「心理学基礎実験演習1(心理学実験)」、秋学期に「心理学基礎実験演習2」が開講されます。

この科目は履修登録の際、履修制限単位に含みません。(この科目を履修登録する学期は、履修制限単位数 24 単位+心理学基礎実験演習 2 単位=計 26 単位の履修が可能です)

心理学課題演習1・2 (3年生)

3年生春学期に「心理学課題演習1」、秋学期に「心理学課題演習2」が開講されます。必修科目のゼミナールです。2年生春学期のGPA順位によって、優先的に希望のゼミナールに入ることができる場合があります。

■必修科目積み上げ方式(履修条件)について《重要》

《心理学課題演習1・2(3年生)の履修条件》

2年生必修科目、春学期開講「心理学基礎実験演習1(心理学実験)」または秋学期開講「心理学基礎実験演習2」の2単位を取得した者に限り履修できます。どちらも未修得の場合は履修できません。

また、原則「心理学課題演習1」を履修した者に限り、「心理学課題演習2」を履修できます。

《卒業研究(4年生)の履修条件》

3年生必修科目、春学期開講「心理学課題演習1」または秋学期開講「心理学課題演習2」の4単位を取得した者に限り履修できます。どちらも未修得の場合は履修できません。履修条件を満たさず、卒業研究を履修できない場合、4年間での卒業はできず、卒業が最短1年延期されます。

4. その他注意事項(フロート単位)

フロート単位とは、全学共通科目と学部固有科目から自由に選択して履修・修得する単位のことです。卒業要件を満たすためには、決められた単位数を修得しなければなりません。

心理学部を卒業するためには、合計124単位が必要です。その内訳は、全学共通科目から44単位、学部固有科目から72単位、そしてフロート単位として8単位となっています。

全学共通科目と学部固有科目の区分で修得した単位のうち、各区分の卒業要件(必要単位数)を超えた分については、フロート単位として加算されます。したがって、各区分の必要単位を超えて履修した単位も、卒業単位として認められます。

1・2年生のうちにはフロート単位を特に強く意識する必要はありませんが、3年生以降は卒業要件を満たすために、フロート単位にも注意を払うようにしてください。

時間割を作成してみましょう！

履修計画表:春学期

		月	火	水	木	金
1 限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
2 限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
3 限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
4 限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
5 限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】

履修計画チェック表

項目	チェック
学部固有の必修科目のうち、春学期に履修できる4科目全てをいれましたか？	<input type="checkbox"/>
全学共通の第二外国語科目は、割り当てられた言語・クラスをいれましたか？	<input type="checkbox"/>
全学共通の英語科目は、心理学部が履修できるクラスで、英語コミュニケーションと英語リーディングを1科目ずついれましたか？(履修できるクラスは時間割表を要確認)	<input type="checkbox"/>
全学共通科目をいれましたか？	<input type="checkbox"/>
スポーツ実技科目 1 科目をいれましたか？	<input type="checkbox"/>
第二外国語を各 1 単位(A:1 単位 B:1 単位)で計算した上で、履修登録制限単位の 24 単位以下ですか？	<input type="checkbox"/>

5. 公認心理師について

公認心理師とは心理職の国家資格です。公認心理師資格を取得するためには厳しい条件があります。以下内容とあわせて学生便覧をよく確認してください。現時点で公認心理師を知らない学生も、今後ガイダンスやお知らせ等を通じて随時情報をお伝えしますので、確認してください。

■公認心理師とは

2017年の公認心理師法施行により認められた、心理職において国内で初めてとなる国家資格。専門知識及び技術をもって「心の問題」を抱えている人およびその周囲の人に対して、心理状態の観察・分析、また解決に向かうための相談・助言・援助を行うことを職務とする。

■資格取得の流れ

①心理学部在学中に**指定 26 科目**を修得して卒業

※必ず“在学中”に 26 科目すべてを修得して卒業する必要がある。卒業後に不足科目を補うことはできない

※1 年生履修可能科目は学部必修科目(心理学概論、心理学統計法1)のみ

②卒業後は、大学院で指定 10 科目を修得して修了

③公認心理師国家試験に合格

■公認心理師科目履修条件

公認心理師となるために必要な科目のうち、3 年次春学期開講「カウンセリング基礎演習(心理演習)」および 4 年次開講「臨床心理学学外実習 A(心理実習)」「臨床心理学学外実習 B(心理実習)」(以下「心理演習・心理実習」と略す。)の履修にあたっては、**履修者数制限**と**履修条件**を設定する。

履修条件を満たした学生のみ「心理演習・心理実習」履修可否選考を受験できる。履修可否選考の結果、履修を許可された学生のみ、履修が認められる。履修が認められない場合、公認心理師受験資格を取得できない。

履修可能者数	30 名程度(当該年度生枠)
履修条件 (学生便覧抜粋)	(3)3 年次終了時点までに心理実習を除く 24 科目の単位を取得していること 4 年間ですべての科目を修得すればよいわけではない。計画的な履修が必要。 (6)公認心理師に関する所定の申請書類を提出すること 2 年次 2 月頃に「公認心理師受験資格に必要な科目(心理演習・心理実習)履修希望届」の提出がある。本届を提出しない場合、履修条件を満たすことができず「心理演習・心理実習」は履修不可となる。
履修可否選考内容	①公認心理師受験資格に必要な科目の単位取得状況 ②選考時点までのトータル GPA(GPA:成績の質を表すもの) ③所定申請書類の提出状況および内容

■注意事項

「心理演習・心理実習」選考時(3 年次春学期終了時点および 3 年次秋学期終了時点)までに履修条件を満たさない場合、「心理演習・心理実習」履修が認められず、公認心理師受験資格を取得できない。

公認心理師を目指す学生は、2 年次以降、計画的に公認心理師科目を履修・修得する必要があるため、早めに卒業後の進路について検討すること。

履修に関する FAQ(よくある質問)

≪時間割を組むこと全般についての質問≫

Q 「時間割」をどのように組めばいいかわかりません。

心理学部「時間割作成のポイント」の手順で組んでください。
科目内容は「シラバス」を、科目の開講時限は「時間割表」を確認し、科目を選択してください。
併せて大学ホームページに掲載している「授業ガイド<履修登録について>の動画」を見てください。

Q 「単位」とは何ですか。

履修した授業に出席し、一定以上の成績を修めると、その証明として学校から与えられるものです。
単位は数で表され、学生便覧では、科目名の後ろにあるカッコの中の数字がその科目を合格した際に修得できる単位数を表します。**心理学部を卒業するために必要な単位数は、「124 単位」(そのうち、全学共通科目から 44 単位、学部固有科目から 72 単位、フロート単位として8単位)です。**4年間を通じて必要な科目を履修し合格することで単位を取得し、卒業までに 124 単位を修得する必要があります。

Q 何単位分履修登録をしたらいいですか。

履修登録制限単位数内であれば、履修登録する単位数は自由ですが、4年間で余裕も持って卒業できるよう、**可能な限り多くの単位を履修することを推奨します。**1年生春学期に履修登録できる単位の上限(履修登録制限単位)は「24」単位です。例年多くの先輩は、スポーツ・健康科目(1 単位)を含む「23」単位分の履修登録をしています。

Q 英語基礎科目クラスの選択ですが、自分のレベルがわかりません。

本学公式ホームページの在学生ページに掲載している『学生便覧(履修ガイド)心理学部』の「4. 全学共通科目の履修上の注意」から「受講対象者のレベルと到達目標」の表を参照してください。ベーシックのクラスは再履修者専用クラスのため、1年生は選択できません。なお、コミュニケーションとリーディングはレベルが異なっても構いません。

Q 英語基礎科目のアドバンストクラスを履修したいのですが、時間割表から見つけれません。

アドバンストクラスは、**インターミディエイト・エレメンタリークラスとは別の曜日時限で開講されています**ので、時間割表をよく確認してください。

Q A先生の「文学」とB先生の「文学」を同時に履修できますか。

同じ名称の科目を同時に履修することはできません。また一度履修をして合格(単位修得)した科目は、教員が違って再度履修することはできません。

Q スポーツ科目を1セメスターに2科目履修登録することはできますか。

各セメスターに履修登録できるのは、**1科目のみです**(シーズンスポーツを除く)。

Q 授業実施方法は原則「面接授業」とありますが、それ以外の授業実施方法もあるのでしょうか。

授業実施方法は、「面接授業」と「遠隔授業」に分類され、授業科目によって異なります。

【面接授業】対面での授業が全授業回のうち半数以上(15回授業であれば8回以上が対面での授業)

【遠隔授業】オンラインでの授業が全授業回のうち半数以上(15回授業であれば8回以上がオンラインでの授業)

各授業の実施方法は、シラバス、時間割表、CHUKYO MaNaBo で確認することができます。

なお、オンラインでの授業形態は以下のように分類されます。

【オンライン授業形態】

リアルタイム型:授業時間割に記載されている曜日・時限で同時双方向にて行う授業形態

オンデマンド型:リアルタイム以外のインターネット配信を利用した方式で行う授業形態

MaNaBo 等を利用し、授業担当教員が提示した資料に基づいて学修を進め、課題レポートの作成、提出を行う方法。

Q 全学共通科目は、1年生のうちにはではなく、上級生になってから登録しても良いですか。

登録できる科目は、1年生のうちにはできるだけ履修しておきましょう。学年が上がるにつれて、専門的な内容を扱う学部固有の科目が増え、時間割の調整が難しくなります。スポーツ実技科目や語学科目は、1年生のうちには履修・修得する学生が多いです。科目によっては、抽選の結果、希望する科目を履修できない場合もありますが、卒業までに必要な単位数を満たせるよう、計画的に履修登録をしてください。

≪履修登録についての質問≫

Q シラバスに掲載されているが、履修登録画面で表示されない授業があります。履修登録画面に表示されている科目のみ申請できるのでしょうか。

時間割表及び履修登録画面に表示されている授業のみ履修申請することが可能です。

例えば、第二外国語科目は、1年生は時間割記載(学部ごとに指定)の曜日時限のみ履修することが可能ですが、再履修生(上級生)は、その他曜日時限を履修することが可能です。シラバスでは、再履修生(上級生)用に新入生が履修できない曜日時限のクラスも表示される仕様となっています。

その他、クラス指定や履修条件等で一部シラバスに記載されていますが、履修登録画面に表示されない授業があるかもしれません。履修登録画面に表示される授業が現在履修申請できる授業となりますので、履修登録画面及び時間割表で確認してください。

Q 第二外国語が希望の言語ではありません。どうしたらいいですか。

各言語には教育の質を担保するために、定員が設定されています。現在表示されている第二外国語については、厳選な抽選を行った結果によるものです。**変更することはできません。**

卒業に必ず必要な科目となりますので、現在登録されている言語で受講し単位を修得してください。

Q 【二次登録・履修修正期間】履修申請で抽選漏れとなった「英語基礎科目」のクラスが、履修申請画面で「定員残り●名」と表示されています。定員に空きがあるのでしょうか。

上級生定員に空きがあるだけで1年生定員には空きがない場合があります。

英語基礎科目については、1年生定員と上級生定員をそれぞれ設定しています。「空きあり」と表示されている場合でも、上級生定員に空きがあるだけで1年生定員には空きがない場合があります。

落選した科目については、二次履修登録で履修登録しても再度落選してしまう可能性が高いため、別のコマ(レベルを変更するなど)で履修登録をすることをお勧めします。

また、二次履修登録の抽選でも落選した場合は履修修正期間に再度履修登録していただくこととなります。

Q

【履修修正期間】二次抽選で落選した授業があった場合どうしたらいいですか。
また、履修が確定した授業を修正して、新しい授業を履修登録することはできますか。

二次抽選で落選した場合、4/6～の履修登録修正期間に追加登録を行ってください。

また、確定した授業についても修正することが可能です。履修登録修正期間で申請した授業は、先着順で、抽選にはなりません。申請できれば確定となります。

Q

履修登録した科目が MaNaBo に反映されません。

MaNaBo に履修科目が表示されるのは、次のタイミングです。

- ・一次申込期間(～4/3)に申請し、当選した科目 → 4/6 の朝6時から反映されます。
- ・二次申込期間(4/4)に申請し、当選した科目 → 4/6 の朝6時から反映されます。
- ・履修修正期間(4/6～4/13)に追加した科目 → 登録した**翌日の朝6時**から反映されます。